

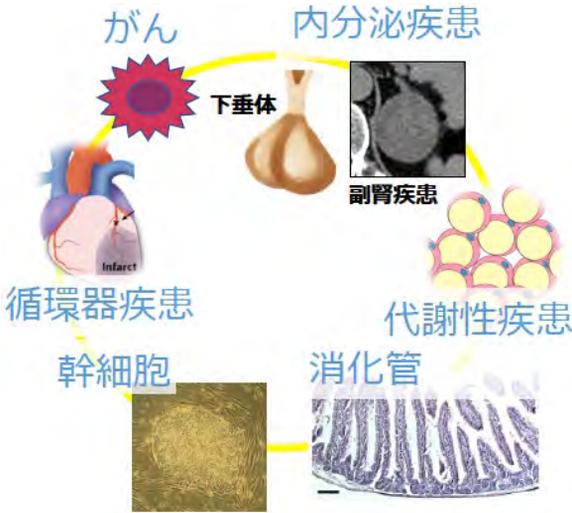
がんや免疫・内分泌や生活習慣病などの代謝内分泌疾患・心臓血管病などの循環器疾患・加齢疾患などの原因となる分子病態を多面的に解析し、革新的治療法開発に繋げるミッションです。

“基礎と臨床の架け橋”

疾患・病態を単一の切り口ではなく、

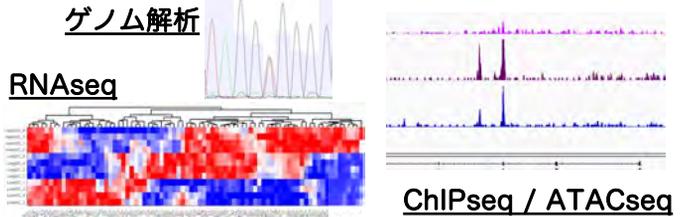
「ゲノム・転写調節・エピゲノムなど様々な方向から全体像を明らかにすること」さらにそれを「1細胞単位で解き明かすシングルセル解析技術」と統合することが

私たちの目指す新しい**分子病態解析**です。



マルチオミクス解析

網羅的解析技術の統合による
“俯瞰的な”病態解析の推進

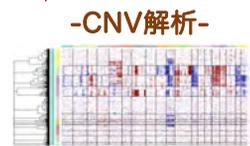
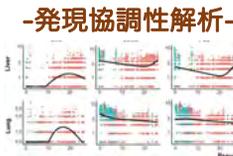
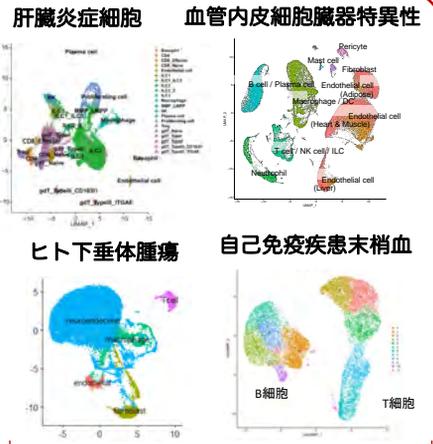


Single cell 解析

基礎動物実験
・発生的特異性
・ストレス応答性

ヒト疾患検体
・腫瘍特異的細胞集団
・自己免疫疾患誘導

疾患を構成する病態を司る
分子の応答性・細胞連関を
最新技術を用いて解析する



最近の主な業績

Communications Biology. In press (2023).
Nature Communications. 13(1):5408. (2022).
Communications Biology. 5(1):1304. (2022).
Cancer Research. 82(18):3209. (2022).
Sci Rep. 12(1):18443. (2022).
The Journal of biological chemistry.298(11):102506. (2022).
J. Exp. Med. 218(8):e20202648. (2021).
Oncogene. 40:1217-1230. (2021).
J. Exp. Med. 217(1):e20190972. (2019).
Proc Natl Acad Sci USA. 15(33):8370-8357. (2018).
Nature Immunology. 19(12):1427-1440. (2018).
Immunity. 48(6):1119-1134. (2018).

教授 田中 知明

連絡先 : tomoaki@restaff.chiba-u.jp

TEL 043-226-2170

FAX 043-226-2169